■交通案内図

●JR大阪環状線・Osaka Metro 森ノ宮駅下車 西へ約400m
●駐車場はありません。

■入館料

	個　人	団体(20人以上)
小・中学生	無　料	
高　校　生	150円	100円
大　人	250円	200円

●65歳以上・障がい者の方は無料です。(証明する手帳などを御提示ください。)

■開館時間

●午前9時30分～午後5時
入館は、午後4時30分までです。

■休館日

●月曜日
●国民の休日の翌日
(9月から11月までを除く)
●年末・年始(12月28日▶1月4日)
●館内整理日(所定月の月末)
ただし、国民の休日の翌日及び館内整理日が土曜日または日曜日にあたるときは、翌火曜日になります。
詳しくはホームページをご確認下さい

ピースバード
この鳥は、ピースおおさかのキャラクターです。

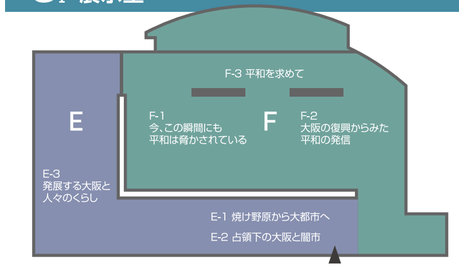
■ピースおおさか友の会

1年間の無料入館などの特典があります。 詳しくは事務室まで。

公益財団法人 大阪国際平和センター
〒540-0002　大阪市中央区大阪城2番1号
TEL.06-6947-7208　FAX.06-6943-6080
ホームページ　http://www.peace-osaka.or.jp

3F 展示室

2F展示室 A・B・C > 1F展示室 D > 3F展示室 E・F



Eゾーン　たくましく生きる大阪

戦後、GHQによる占領下から高度経済成長を経て
発展する大阪の姿を伝えます。

オキュパイドジャパン(MADE IN OCCUPIED JAPAN(占領下の日本))と刻印された食器

農村への買出しのリュック(重さの体験)

Fゾーン　私たちの未来をつくっていくために

今も平和が脅かされている世界。
平和のために私たち一人ひとりができることは何かを考えます。

ワークショップスペース

国際貢献

JICAによる農業技術指導(ガーナ)

戦争のあとに残るもの

難民キャンプ(イラク)

難民の赤ちゃん(カメルーン)

刻の庭・母子像

刻の庭

「大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場」として、多くの方の寄付により整備されました。ドーム内の銘板には死没者一人ひとりのお名前が刻まれています。ドームのまわりには、大阪大空襲の回数にちなんだ8個の鐘が配置され、庭の壁面には死没者・行方不明者数にちなんだ1万5千人の子どもたちが平和への思いや願いを刻んだタイルが貼られています。

ドーム内の銘板

鐘と壁面タイル

1945年の母子像

戦禍のなかを逃げまどう母と子を表現した戦争犠牲者追悼のモニュメントです。(入口前)

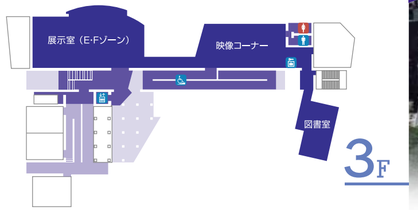
講堂

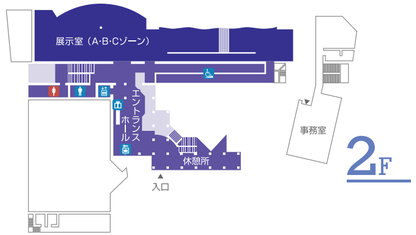
アニメ映画「どうぶつたちのねがい」(約20分)「火の海・大阪」(約20分)「十六地蔵物語」(約30分)の定時上映などを行っています。

資料寄贈のお願い

戦前・戦中・戦後の様子がわかる身の回りの品や当時の記録などの寄贈をお願いします。

施設案内





男子トイレ　エレベーター　自動販売機
女子トイレ　スロープ　ミュージアムショップ
車いす使用者用トイレ　コインロッカー

展示は予告なく変更することがあります

展示のしおり

大阪空襲を語り継ぐ
平和ミュージアム

ピースおおさか
大阪国際平和センター

ピースおおさか からのメッセージ

～展示リニューアルによる新たなスタートにあたって～

ピースおおさかは、1991（平成3）年に平和の首都大阪の実現をめざし、大阪府民･市民の協力のもと、世界平和に貢献することを目的に、大阪における平和の情報発信基地として開館しました。以来23年余が経ち、これまでに延べ188万人にのぼる多くの方々に来館いただくことができました。

戦後70年を迎え、戦後生まれが総人口の4分の3を超えた今日、戦争の記憶を風化させることなく、次の世代に戦争の悲惨さと、平和の大切さを伝えていくというピースおおさかの役割はますます重要になっています。

開館以来初めてとなるこのたびの展示リニューアルでは、来館者にとって身近な地域の出来事である「大阪空襲」を中心に取り扱うこととしました。また、次代を担う子どもたちが、この大阪で起こった空襲の実相や大阪と戦争の関係を通して、戦争の悲惨さ、戦争の背景を理解するとともに、平和を自分自身の課題として考えることができる展示をめざしました。

歴史に学ぶことは、過去の時代を追体験することであり、このことを通じて、現在を考え、そして未来の方向を見定めるヒントを得ることができます。そこで、現代とは大きくかけ離れた時代背景のもとで、当時の人々がいかに生きたかを、できるだけ体感しながら理解していただけるようにしました。展示に当たっては、当時の国際情勢を踏まえつつ、なぜそのような経緯を辿ったのか、時代の推移や背景をできるだけ明示するように努めました。

また、空襲とともに戦後復興も大阪の記憶として引き継ぐため、その時代を生きた人々の苦労と頑張りを大阪の街の発展とともに紹介するコーナーを新たに設けました。

さらに、海外からの来館者に対する多言語の音声ガイドを新たに導入するなど、内外のより多くの人に理解していただけるように努めました。

今なお、世界では戦争や紛争が絶えません。わが国もかつて戦争により多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に多大の損害と苦痛を与えました。また、唯一の被爆国として多くの尊い命を失いました。戦争の悲惨さを知り、体感しさえすれば、それで平和が訪れるものではありません。平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるかを、私たち一人ひとりが考え、今できることを地道に実現に移すことが、求められています。

ピースおおさかは今後も、大阪空襲の犠牲者を追悼し平和を祈念するとともに、大阪空襲を通して戦争の悲惨さ及び平和の尊さを次の世代に伝え、平和を願う豊かな心と確かな見識を育み、もって世界の平和に貢献するための大阪における平和ミュージアムとして、多くの皆様にご利用いただけるよう、努力を重ねてまいります。

2015（平成27）年4月30日

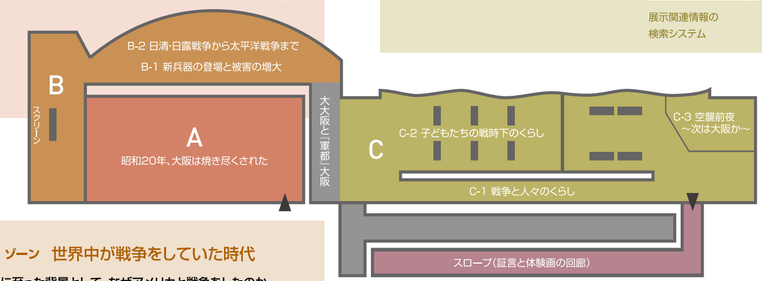
2F 展示室

2F 展示室 A・B・C ＞ 1F 展示室 D ＞ 3F 展示室 E・F

A ゾーン　昭和20年、大阪は焼き尽くされた

空襲で焼き尽くされた大阪を、
現在の大阪の様子とともに伝えます。

被弾した水筒



B ゾーン　世界中が戦争をしていた時代

空襲に至った背景として、なぜアメリカと戦争をしたのか、
日清･日露戦争から太平洋戦争までをたどります。

映像
（日清･日露戦争から太平洋戦争まで）

新兵器の登場と被害の増大

C ゾーン　戦時下の大阪のくらし

戦時下で厳しさを増すくらしとともに、
空襲に備えた当時の様子を伝えます。

展示関連情報の
検索システム

戦時下の民家

すいとん・いもがゆ（複製模型）

米穀通帳

代用品（陶製水筒）

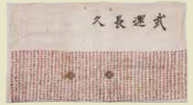
当時の人々の思いを伝える手紙

出征する兵士の手紙

疎開児童と家族の手紙

戦地からの手紙

臨時召集令状



千人針

当時の服装

1F 展示室

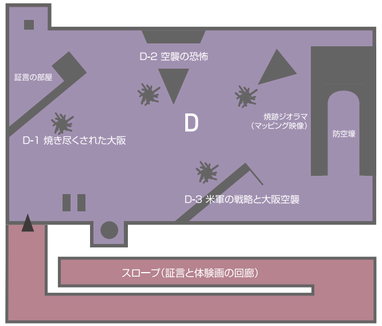
2F 展示室 A・B・C ＞ 1F 展示室 D ＞ 3F 展示室 E・F

D ゾーン　多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

大阪空襲の実態を写真、実物資料、体験者の証言などにより伝えます。

被弾した鉄カブト

被弾した大阪陸兵工廠のレンガ壁



壁面に配置された戎橋界隈のジオラマ

戎橋界隈のジオラマや床面へのプロジェクション
マッピングにより、空襲の様子を映写

マッピング時

集束焼夷弾（複製模型）

焼け残ったミシン

10人程度が入れる防空壕

1トン爆弾（複製模型）

スロープ

大阪空襲の証言と体験画の回廊